



安心の創造、誠実な経営。



平成 27 年 2 月 2 日

各 位

いちごグループホールディングス株式会社  
 代 表 者 代表執行役会長 スコット キャロン  
 (コード番号 2337 東証 J A S D A Q)  
 問合せ先 執行役管理本部長 吉松 健行  
 (電話番号 03-3502-4818)  
[www.ichigo-holdings.co.jp](http://www.ichigo-holdings.co.jp)

## 沖縄県最大の太陽光発電所「いちご名護二見 ECO 発電所」の 発電開始に関するお知らせ

いちごグループは、サステナブル（持続可能）な社会形成への貢献を標榜し、傘下の事業子会社であるいちご ECO エナジー株式会社（以下、「いちご ECO エナジー」という。）にて、地域および地球に優しいクリーンエネルギー事業を積極的に推進しております。

この度、沖縄県名護市二見の旧ゆかり牧場において建設されたいちご名護二見 ECO 発電所が発電を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本発電所は、沖縄県で発電している最大の太陽光発電所であり、東京ドーム約 3 個分の土地に建設されております。2015 年 1 月 28 日、現地にて、名護市長を始め、建設に際しご尽力をいただいた皆様をお招きし、落成式典を実施いたしました。本発電所の敷地内には見学者用の丘を設け、再生可能エネルギーへの理解を深めていただく場としても活用していく予定としております。また、発電所内にはクローバーを敷き詰め、緑鮮やかな美観にも配慮した発電所となっております。

いちご ECO エナジーは、開発を確定させている 24 発電所 (83MW) を計画通り進捗させており、本発電所の売電開始により当月から投資先行の事業であるクリーンエネルギー事業は営業黒字となります。これらの 24 発電所が計画通り 20 年稼働した場合の将来収益想定 (営業収益 - 減価償却費) は 20 年間で合計約 310 億円 (事業計画策定に際し技術コンサルタントが作成する超過確率 50% での予測発電量である「P50」ベース) を見込んでおり、株主価値向上に寄与いたします。

### 記

#### 1. いちご名護二見 ECO 発電所の概要

発電開始日	2015 年 2 月 2 日
所在地	沖縄県名護市二見スギンダ
利用面積	146,294m <sup>2</sup>
パネル出力	約 8.44 MW
パネル枚数	32,144 枚
年間予測発電量 (「P50」ベース)	約 9,901,000kWh 一般家庭約 2,750 世帯分の年間消費電力に相当 (注)

(注) 1 世帯当たり 3,600kWh/年で算出 (出典：電気事業連合会資料)

■ いちご名護二見ECO発電所（航空写真）



■ いちご名護二見ECO発電所落成式典の様子





## 2. いちご ECO 発電所の稼働推移

現時点の確定案件数：24 案件、約 83MW

	2014 年 2 月期 (実績)	2015 年 2 月 2 日 (現在)	2015 年 2 月期 (予定)	2016 年 2 月期 (予定)	2017 年 2 月期 (予定)	2018 年 2 月期 (予定)
累計発電所数	3	16	17	23	23	24
累計 MW 数	5.25	28.07	29.32	40.01	40.01	83.02

## 3. 今後の見通し

本発電所の稼働開始は、2014 年 4 月 17 日付発表の 2015 年 2 月期連結業績予想にて織り込み済みです。

以 上

### [参考]

当社ホームページより、各いちご ECO 発電所の発電状況を随時ご確認いただけます。是非ご参照下さい。 [www.ichigo-holdings.co.jp/eco](http://www.ichigo-holdings.co.jp/eco)

(注) 本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社および当社グループが発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。よって、実際の業績は様々な要因につき、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となりえることをご承知ください。